

視覚障害の理解③	特別支援教育連携推進グループ 附属視覚特別支援学校 佐藤 北斗	11月13日(金) 17:00～18:00 11月19日(木) 16:00～17:00
<p>副題：眼疾患の理解と学習・生活上の配慮について</p> <p>講義内容：</p> <p>視覚障害児・者の見え方はさまざまです。児童生徒が安全で楽しい学習や生活を送るためには、その子どもがどのような眼疾患なのかを理解しておくことが大切です。</p> <p>視覚障害の理解①(ステップ1)では「みえない・みえにくさ」の疑似体験、弱視児・者の見え方についてお伝えしました。視覚障害の理解③では、「主な眼疾患について」、「眼疾患と教育上の配慮事項」「修学支援に当たっての合理的配慮」の3点についてお話します。また、先生方が担当されているお子さんの様子と、先生方が実際にどのような学習・生活上の指導と配慮をされているかについて、意見交換していきます。</p> <p>講義で使用する資料等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は、Googleドライブにアップします(後日、URL をメールでお送りします)。</li> <li>適宜ダウンロードや印刷等をお願いします。</li> </ul> <p>参考文献：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青木隆一・神尾裕治監修(2018)「新訂版 視覚障害教育入門 Q&amp;A—確かな専門性の基盤となる基礎的な知識を身に付けるために—」, ジアース教育新社</li> <li>・独立行政法人日本学生支援機構編著(2018)「合理的配慮ハンドブック～障害のある学生を支援する教職員のために～</li> </ul>		



視覚障害の理解④	特別支援教育連携推進グループ 附属視覚特別支援学校 佐藤 北斗	12月3日(木)16:00～17:00 12月7日(月)17:00～18:00
<p>副題：視覚障害児・者の自立活動の指導と実際</p> <p>講義内容：</p> <p>視覚特別支援学校(盲学校)での自立活動の授業では、児童生徒一人一人のニーズに合わせた指導が行われており、その内容は多岐にわたっています。</p> <p>その中で、視覚障害の理解④では、視覚障害の理解②(ステップ1)の続きとして、「触って理解すること」「空間概念と運動動作」「歩行指導」「情報機器の活用」の4つのテーマをもとに、どのように指導を進めていくと良いかを動画や写真を活用しながら、先生方と意見交換します。</p> <p>また、特別支援教育連携推進グループが運用する「教材・指導法データベース」の中から、上記の指導において有効な教材を紹介し、今後の授業実践に活用いただければと考えます。</p> <p>講義の前までに、以下のデータベースをご覧くださいと幸いです。</p> <p>筑波大学特別支援教育連携推進グループ 教材・指導法データベース  <a href="http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/kdb/index.html">http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/kdb/index.html</a> </p>		

講義で使用する資料等：

- ・資料は、Google ドライブにアップします(後日、URL をメールでお送りします)。  
適宜ダウンロードや印刷等をお願いします。



参考文献：

- ・青木隆一監修(分担執筆)(2016)「見えない・見えにくい子供のための歩行指導Q&A」,  
ジアース教育新社
- ・筑波大学特別支援教育連携推進グループ編著(2020)「筑波大学 特別支援教育 教材・指導法  
データベース選集1～授業を豊かにする教材知恵袋「教科編」～ ジアース教育新社

講座概要は以上です。宜しくお願いします。